



第13回 東北アジア青年フォーラム2016 参加者 第2次募集要項

公益社団法人 国際 IC 日本協会

2004年から昨年まで12回にわたり日・中・韓の大学生・大学院生を中心に開かれた東北アジア青年フォーラムが、本年も下記の要領で開催されることになりました。尚、本年も、日・中・韓の青年の交流に先立ち、8月21日(日)～22日(月)に掛けて日韓の青年同士の交流を行うことになりました。日韓大学生の討論会を終えた22日に、今度は中国からの参加者を加えて東北アジア青年フォーラムが始まるという2部構成です。日韓大学生の討論会の詳しい内容については、別添の資料をご参照下さい。

本フォーラムは、グループ・ディスカッションでの率直な話し合いやレクリエーションの時間、そして、それぞれの国の文化を相互に体験する活動、及び、歌や踊り等を披露しあう「文化公演」等のプログラムを通して、個々人の相互理解や親密度を深めることを目的としております。更には、ソウルの街を一緒に散歩といった体験を通して韓国の文化を肌で感じることもできます。

現在も、日・中・韓を取り巻くマスメディアの報道や、各国政府間の関係は必ずしも明るいものとは言い難いですが、国籍や言葉の垣根を越えて、同世代の中国や韓国の青年と接するとき、草の根のレベルでの関係改善への一歩が始まります。

また、多言語が飛び交う国際交流における議論の進行や意思疎通の難しさを実感することも貴重な体験となることでしょう。

なお、本フォーラムへの参加をきっかけとして、韓国や韓国語への関心が深まり、韓国への語学留学や交換留学をされた方々、英語を真剣に学び始めた方々、又、親しくなった韓国や中国の友人を訪ね旧交を温めた方々も多数おられます。韓国や中国に一生の友人を得る機会ともなりうる本フォーラムに是非、ご参加下さい。



記

- 期 間：2016年8月21日(日)～27日(土)(6泊7日)
- 主 催：韓国 MRA/IC 本部 (青少年教育団体)
- 後 援：大韓民国政府 女性家族部 (省)
- 協 賛：公益社団法人国際 IC 日本協会 (日本での応募先)
中国国際交流協会 (中国)

中国国際青年交流センター（中国）

■ 会議の内容

- －日中韓の有識者による本フォーラムテーマに関連する講演
- －テーマ・サブテーマについてのグループでの討論と各国代表による発表
- －レクリエーション、各国文化体験活動やそれぞれの国の歌や踊り等を披露しあう「伝統文化公演」の開催
- －韓国の文化施設等の見学、グループでのソウル市内の散策

■ テーマ

東北アジア（日中韓）青年フォーラム『 青少年と職業 』（8月22日（月）～27日（金））

サブテーマ

1) 未来の社会と青少年の職業選択（韓国の発表）

（経済構造、価値観などの大きな変化が予想される未来の社会を理解し、主体的な人間として生きていく青少年の職業選択において、正しい判断と力量を発揮していくための方向性を探る）

2) 青少年の起業と職業の創出（中国の発表）

（青少年の挑戦の精神とアイデアを通じた起業の意味と可能性を理解し、失業問題の解決のための青少年の起業の必要性を考える）

3) 青少年の職業教育と力量を発揮していくために（日本の発表）

（青少年が力量を発揮していくための職業教育の重要性を理解し、政府の役割と多様な職業訓練課程および学校進路教育の重要性と可能性を探る）

※サブテーマの事前学習と発表について

各国8～9名ほどが、同じサブテーマを共有するグループ毎に別れ、各自の事前調査に基づく意見交換を行い、その意見交換のまとめを全体会議で報告します。

また、これに先立ち、グループ・ディスカッションとは別に、各国代表者が、各国毎に指定されたサブテーマについて、事前に調べた成果物を発表します。すなわち、サブテーマ1は韓国、2は中国、3は日本の各国代表者1名が、パワー・ポイントを用いて発表します。

参加を御希望の方は、サブテーマの中から一つ選択して、下記要領に従い小論文を作成することとなります。なお、各国毎のサブテーマのグループに定員（各国8～9名）があるため、特定のサブテーマに希望者が集中した場合、小論文の内容等を踏まえて人数調整をさせていただきます。この場合、お書き頂いたサブテーマとは別のサブテーマのグループとなる可能性がありますので、予めご了承下さい。

【小論文作成要領】

- ・1頁当たり40字／40行、フォントサイズ12.0pt、A4サイズ、2000字以上3200字以内
- ・文献の引用については、（著者名（発行年）「タイトル」出版社・頁数）と表記して下さい。

- ・文書の冒頭中央に「青少年と職業」、改行して中央に「(選択したサブテーマ)」、改行して右端に「大学名・学年・氏名」を記入して下さい。
- ・文章が読みやすくなるように適宜ナンバリングとタイトルを振っても構いません。その場合、ナンバリングは大きい番号から「1→(1)→a→(a)」の順番で統一して下さい。

■ 募集人数：日本の大学生・大学院生 合計 25 名

(中国の大学生・大学院生 25 人、韓国の大学生・大学院生 30 名が参加予定)

■ 参加費： 50,000 円 (航空運賃、団体旅行保険料込み)

※ 滞在費 (但し、私的な飲食代金や物品の購入費用は除く) は、韓国 MRA/IC 本部の負担となります。但し、羽田空港-御自宅間の往復交通費は、自己負担となります。

※ 出発日の 2 週間前 (8 月 6 日) を過ぎて本フォーラムの参加をキャンセルされた場合、キャンセルフィー (航空会社へのチャージ含む) として 18,000 円を御負担頂くこととなりますので、予め御了承下さい。

■ 参加を検討されている方は、公益社団法人国際 IC 日本協会、中山まで電話やメールでご連絡下さい。

メール：k.nakayama.iofc@gmail.com

電話：090-9202-3541 (事務局長：中山 啓介)

■ 参加申込手続

参加希望の方は、サブテーマについての小論文、参加申込書 (公益社団法人国際 IC 日本協会ウェブサイトよりダウンロード可能)、顔写真データ 1 枚、及び、パスポートの氏名欄のコピー (パスポートがまだない方は、入手し次第) を E メール の添付ファイルで k.nakayama.iofc@gmail.com へお送り下さい。(7 月 29 日 (金) を募集の締切と致しますが、先着順で選考させて頂きますので早めにお申し込みください) 尚、選考結果は速やかに国際 IC 日本協会事務局よりメールにてお送りします。

■ 参加者勉強会・チームワーク作り:

本フォーラムを更に意義深いものにするために事前に話し合いのテーマについての勉強会を行います。(本フォーラムの会議中、参加者は、それぞれの言葉を使い、それが各国語に通訳されます。食事や自由時間には各自の出来る言葉でコミュニケーションを図ってください)

また、「伝統文化公演」の演物を考え、一緒に練習もします。この過程で、日本からの参加者同士もお互いに仲良くなる事が出来ます。

そのため、7 月から 8 月に掛け、公益社団法人国際 IC 日本協会事務局にて事前準備会 (日程は参加の決まった方々に追ってご案内いたします) を実施いたしますので、参加者におかれましては、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

尚、準備会の会場は公益社団法人国際 IC 日本協会事務所 東京都新宿区四谷 4-28-20 パレ・エテルネル 602 号 (TEL : 03 (6273) 1428) です。

(地下鉄丸の内線「新宿御苑駅」の大木戸口出口を出て、新宿通りを左に徒歩約 4 分。四谷四丁目交差点の手前の路地の奥にある茶色の煉瓦のビルです。道路の反対側には大きな四谷区民センターのビルが見えます。尚、手前のレジデンス用の入り口ではなく、その奥隣にある事務所用の入り口から入って、エレベーターで 2 階までお上がり下さい)

* 遠隔地の方々は、事前準備会にご参加頂くのが難しいと思います。準備会で話し合われたことを議事録にまとめてお送りします。又、スカイプ・ミーティング等を行って事前に参加者同士の交流も図りますのでご安心ください。又、ご自分の居住地の最寄りの空港から直接ソウル (金浦空港) に来ていただくことも可能となりますが、そのようなご希望がある場合には予め事務局にご相談ください。

■ 感想文提出

本フォーラム参加者は、帰国後 1 週間以内に感想文 (A4 用紙 2 枚程度) を提出して頂きますのでよろしく願いいたします。

(提出先 : k.nakayama.iofc@gmail.com)

■ 参加費の納付

参加が決定した場合には 8 月 10 日 (水) までに 次の郵便振替口座、或いは、銀行口座にご送金下さい。

- ・郵便振替 口座番号 : 00180-0-38289
加入者名 : 公益社団法人 国際 IC 日本協会
- ・三菱東京 UFJ 銀行 大塚支店 (普) 4880675
口座名 : 公益社団法人 国際 IC 日本協会

■ スケジュール (7 月 15 日現在の予定)

8 月 21 日 (日) (第 1 日)

07:00 羽田空港国際線旅客ターミナル、3 階出発ロビー、D カウンター前の椅子の所で集合

09:00 羽田発アジアナ航空 OZ1055 便で出発、金浦空港 11:20 着

日韓大学生討論会 (詳しくは別紙の資料をご参照下さい)

話し合いテーマ : 『日韓の未来志向的な協力のために』

サブテーマ

- 1) 東北アジア平和のための両国の協力
- 2) 文化交流ならびに人的交流の拡大

- 15:00-16:30 出合いの時間（親交活動、自己紹介）（於：ソウル国際青少年センター会議室）
 16:30-19:00 グループに分かれての討論
 19:00-20:00 夕食
 20:00-21:00 各グループからの発表
 21:00-22:00 共同宣言文の検討
 （国際青少年センター泊）（*1）

8月22日（月）（第2日）

- 08:00-09:00 朝食（国際青少年センター食堂）
 09:00 国会議員会館に向け出発
 10:00-10:30 開会式（於：国会議員会館小会議室）
 リ・ジュヨン MRA/IC 国会議員連帯共同代表、女性家族部（省）長官等より激励のスピーチ
 10:30-11:00 主題についての基調講演
 リュ・ジョヨル（柳 洲烈）韓日協力委員会事務総長
 11:00-11:40 サブテーマ1 に関する韓国の学生代表による発表と日本人学生代表による討論、および、サブテーマ2 に関する日本の学生代表による発表と韓国人学生代表による討論
 11:40-12:20 発表者と参席者間の意見交換
 12:20-12:30 共同宣言文の発表
 12:30-13:30 昼食（国会議員会館食堂）

第13回東北アジア青年フォーラムのスタート

- 17:00-18:00 開会式（於：AW コンベンションセンター）（*2）
 主題講演（講演者未定）
 18:00-19:00 歓迎夕食会
 19:00-22:00 国際青少年センターに移動、オリエンテーション
 （国際青少年センター泊）

8月23日（火）（第3日）

- 07:00-08:00 起床
 08:00-08:40 朝食
 09:00-12:00 天安の国立中央青少年修練院へ（独立記念館見学経由）バスで移動
 10:30-12:00 独立記念館見学
 12:00-13:00 昼食
 13:00-13:30 韓国学生参加者代表、サブテーマ1 についての発表（国際会議室）
 13:30-15:30 グループ別討論（各討議室）
 15:30-16:00 中国学生参加者代表、サブテーマ2 についての発表（国際会議室）
 16:00-18:00 グループ別討論（各討議室）

- 18:00-19:00 夕食
19:00-20:00 レクリエーション
20:00-22:00 各国文化体験活動

(国立中央青少年修練院泊) (*3)

8月24日(水) (第4日)

- 07:00-08:00 起床
08:00-09:00 朝食
09:00-09:30 日本学生参加者代表、サブテーマ3についての発表(国際会議室)
09:30-12:00 グループ別討論(各討議室)
12:00-13:00 昼食
13:00-15:30 グループ別討論のまとめ
15:30-16:00 討論のまとめの発表(国際会議室)
16:00-18:00 共同体活動(レクリエーション)
18:00-19:00 夕食
19:00-20:00 文化公演準備
20:00-22:00 各国参加者による文化公演(国際会議室)

(国立中央青少年修練院泊)

8月25日(木) (第5日)

- 07:00-08:00 起床
08:00-08:40 朝食
09:00-12:00 ソウル・国際青少年センターへ(IT関係企業経由)バスで移動
10:30-12:00 IT産業現場見学
12:00-13:00 昼食
13:00-18:00 統一展望台、臨津閣訪問
18:00-19:00 夕食
19:00-21:00 これまでの活動の評価と翌日のソウル文化探訪の準備(8人程度のグループに分かれソウル市内の見学)
21:00-22:00 共同宣言文作成

(国際青少年センター泊)

8月26日(金) (第6日)

- 08:00-08:40 朝食
09:00-17:00 ソウル文化探訪
17:00-18:00 閉会式準備
18:00-19:00 送別夕食会
19:00-20:00 閉会式
20:00-22:00 懇親交流会

(国際青少年センター泊)

8月27日(土) (第7日)

08:00-09:00 朝食(3F レストラン・エメラルド)

10:00-13:30 バスで出発、金浦空港で自由行動(ショッピング・昼食等)

15:30 アシアナ航空 OZ1045 便でソウル・金浦空港発 17:35 羽田着、解散

《 宿泊及び会議会場 》

1. ソウル、国際青少年センター International Youth Center (DREAMTEL) (*1)
801 Bangwha-Dong, Kangseo-Ku, Seoul 157-223
Tel : +82-2-2667-0535 Fax : +82-2-2667-0257
2. AW コンベンションセンター(*2)
ソウル特別市鍾路区付岩洞188
Tel : +82-2-396-7000 Fax : +82-2-396-2445
3. 天安 国立中央青少年修練院(*3)
忠清南道天安市木川面校村里246-1
Tel : +82-41-620-7792 Fax : +82-41-620-7799

《 韓国主催者連絡先 》

MRA/IC 韓国本部

International Youth Center (DREAMTEL)

801 Bangwha-Dong, Kangseo-Ku, Seoul 157-223

Tel : +82-2-2662-7360 Fax : +82-2-2662-7361

ご応募、並びに詳細の問い合わせについては、下記までご連絡下さい。

公益社団法人 国際 IC 日本協会 (担当 : 中山 啓介)
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-28-20 パレ・エテルネル 602 号
TEL : 03 (6273) 1428 FAX : 03 (6273) 1429
E-Mail : k.nakayama.iofc@gmail.com ホームページ <http://iofc.jp/>

